

宜野湾市消防長 殿



年 月 日

防火管理者又は実施団体代表者

住 所 _____

氏 名 _____

電話番号 _____

防災訓練等実施計画通知書

■消防法第 8 条、第 8 条の 2 又は第 36 条の規定に基づく訓練

□上記以外の訓練

上記の防災訓練等を次のように実施するので通知します。

建物名称 又は 実施場所名称	宜野湾ビル	住 所	宜野湾市野嵩〇丁目〇番〇号
実施日時	〇〇年 〇月 〇日 (月) 10 時 00 分 ～ 10 時 30 分		
通報時間	時 分 ※みなしの場合は記載不要 ※15 分単位で記載してください		
訓練種別	消防計画の 訓練	総合訓練※1・部分訓練 (消火・通報・避難誘導)・防災訓練※2 ※1 「総合訓練」: 消火、通報、避難全てを実施する訓練です。 ※2 「防災訓練」: 防災管理者選任義務がある建物で実施する訓練です。	
	上記以外の 訓練	地震訓練・津波訓練・図上訓練・防災講演 その他 ()	
担当者氏名 (連絡先)	宜野湾太郎 (123 — 456)	参加予定人数	〇人
消防職員・車両 の派遣希望	派遣を希望する (消防職員・消防車両) / 希望しない ※1 希望する項目に〇を付してください。 ※2 緊急出動等により急遽派遣できなくなる場合があります。ご了承ください。 ※3 「消防車両」は、ポンプ車による放水希望の場合となります。		
訓練概要	事務所コンセントからの出火を想定。 消火器による初期消火実施とともに、屋内消火栓の消火活動を行うが、延焼 拡大する。 消火活動と並行して 119 番通報、避難誘導を他の職員にて実施する。		
※受付欄	※経過	※派遣隊員等	
		通報時間入力 不要・済 水消火器本数 本 署所長係長依頼 不要・済 HD 不要・済 資機材貸与日時 / : 派遣隊員	

該当する訓練に
丸付けします。

消防車両は、放水
等を希望すると
きとなります。

- 備考 1 119 番通報訓練を実施する場合は、実施前に沖縄県消防指令センターへ 事前連絡 (098-979-8134) して下さい。
- 2 訓練概要欄に入らない場合は、別紙 (任意様式で可) を添付して下さい。
- 3 地震訓練、津波避難訓練等の場合、防災組織図、訓練要領、避難ルート図等を添付して下さい。
- 4 ※印の欄は記入しないで下さい。
- 5 通知書の控えが必要な場合は 2 部提出して下さい。

[illegible]

実施日時		令和3 年 4 月 1 日(月) 9 時 00 分 ~ 10 時 00 分	
実施場所・名称		名称 宜野湾ビル	所在地 宜野湾市野嵩七丁目 1 番 1 号
実施根拠		定期・臨時・応援協定	実施計画通知書 有・無
実施範囲	建 物	全体 部分(棟 階)	
	部署又は事業所	1 階ラーメンふてんま、2 階クラブのだけ、2 階カフェぎのわん、3~5 階共同住宅	
	参加人員	25 名	
訓練対象者		従業員 (全部・一部)・パート・アルバイト 自衛消防隊員 (全部・一部・特定の者)	
訓練指導者		職名 統括防火管理者 氏名 宜野湾甲太郎	
実施内容		総合訓練・部分訓練 (通報・消火・避難誘導) 地震訓練・津波訓練・図上訓練・防災講演 その他 ()	
全体評価 推奨事項 反省点等		検討事項の例 - 避難に要した時間は適正だったか。前回訓練と比較してどうか。 - 通報の内容、声の大きさ、落ち着き具合は適正だったか。 - 消火器、屋内消火栓等の操作は確実にできたか。 - 消防用設備(自動火災報知設備、非常放送設備、火災通報装置、避難器具等)の使用方法を熟知しているか。 - 避難誘導において残留者の最後のチェックを行ったか。 - 避難誘導時の(肉声、放送による)指示は適切だったか。 - 避難誘導時は搬送時の危険性はなかったか。 - 避難経路は適切だったか(出火箇所を避ける、避難器具を活用する、エレベーターの使用を禁止する等)。 - 通報、初期消火、避難誘導の連携は円滑であったか。 - 各担当から統括者への報告がされており、統括者は全体の状況を把握していたか。 - 避難完了時に防火・防煙区画を形成したか。 - 出火箇所の扉等を閉鎖し延焼防止に努めたか。	
記入者		職名 統括防火管理者 氏名 宜野湾甲太郎	